



三陸防災復興プロジェクト
2019

三陸防災復興プロジェクト2019

2019年6月1日～8月7日





三陸がつながる。

日本各地や世界とつながる。

ひとつになって 更に前に進む。



オープンエリア型の会場と22の事業

主会場は、岩手県沿岸部の13市町村※全体を会場とするオープンエリア型で実施しました。また、実施事業の特徴に合わせ、内陸市町村とも連携して取り組みました。

※岩手県沿岸部の13市町村

宮古市、大船渡市、久慈市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町

事業一覧

- | | |
|---|------------------------------|
| ① 三陸防災復興プロジェクト 2019
オープニングセレモニー | ⑪ 三陸ジオパーク ワクワクフェスタ |
| ② 三陸防災復興シンポジウム 2019
※⑩「三陸防災復興展示会」と一体開催 | ⑫ 三陸ジオパーク
フォトゲイニングフェスティバル |
| ③ オールいわて・祭りイベント | ⑬ 三陸防災復興展示会 |
| ④ さんりく音楽祭 2019 | ⑭ さんりく文化芸術祭 2019 |
| ⑤ 三陸防災復興プロジェクト 2019
クロージングセレモニー | ⑮ 三陸プレミアムランチ列車 |
| ⑥ LINK SANRIKU情報ステーション | ⑯ 三陸鉄道一貫運行記念
「三陸縦断夜行列車」 |
| ⑦ いわて HAMA-MESHI プロジェクト | ⑰ さんりく絆スポーツフェスタ |
| ⑧ 三陸ステーションガーデンプロジェクト | ⑱ 三陸応援団 元氣お届けキャラバン |
| ⑨ 「美味えがすと三陸～Gastronomy
SANRIKU～構想」推進プロジェクト | ⑲ “復興の今” 学習列車 |
| ⑩ ホタテモザイクアート
「ありがとう貝画（かいが）」 | ⑳ 三陸お土産プロモーション大作戦 |
| | ㉑ いわて三陸学びの旅 |
| | ㉒ いわて三陸ドライブツーリズム |



2011年3月11日に発生した東日本大震災津波からの復旧・復興に当たっては、国内外から多くの御支援をいただき、厚く御礼を申し上げます。

6月1日から8月7日までの期間で開催した三陸防災復興プロジェクト2019では、復興に力強く取り組んでいる地域の姿、東日本大震災津波の記憶と教訓を国内外に発信するとともに、岩手県沿岸、三陸地方が本来持っている魅力を伝えてきました。

プロジェクトの事業に御来場いただいた皆様、そして、このプロジェクトに関わってくださった市町村、企業、団体、若者など、多くの皆様に感謝いたします。

東日本大震災からの復興に当たり、私たちは、被災者の人間らしい「暮らし」、「学び」、「仕事」を確保し、

一人ひとりの幸福追求権を保障すること、また、犠牲になった方々の故郷への思いを継承すること、この二つを復興の原則といたしました。

三陸防災復興プロジェクト2019は、岩手県の復興推進プランに掲げる「いのちを守り海と大地と共に生きるふるさと岩手・三陸の創造」を目指し、被災者イコール復興者一人ひとりの復興に向けて大きな前進となりました。

三陸防災復興プロジェクト2019は閉幕しましたが、私たちは、引き続きオール岩手で全国や海外とつながりながら、復興の成功と岩手の未来に向かって歩み続けます。

ロゴマーク



三陸防災復興プロジェクト
2019

三陸の「三」を「羽」に見立て、新しい三陸の創造に向かって力強く羽ばたく三陸の姿を表現。

色は、上から順に

- ・青色 …… 清々しい未来を感じさせる明るい空
- ・青 …… 美しく豊かな三陸の海
- ・赤 …… 三陸の人々の活力と活気を表している。

CONTENTS もくじ

三陸防災復興プロジェクト2019の概要	2
I 国内外に向けた防災復興の発信	
オープニングセレモニー	4
三陸防災復興シンポジウム2019	6
三陸防災復興展示会	7
クロージングセレモニー	8
II 三陸の多様な魅力の発信	
三陸ジオパーク ワクワクフェスタ	10
三陸ジオパーク フォトゲイニングフェスティバル	12
いわて三陸ドライブツーリズム	13
いわて三陸学びの旅	13
「美味(うんめ)えがすと三陸 ～GastronomySANRIKU～構想」推進プロジェクト	14
いわてHAMA-MESHIプロジェクト	16

三陸お土産プロモーション大作戦	17
三陸プレミアムランチ列車	18
三陸鉄道一貫運行記念「三陸縦断夜行列車」	19
「復興の今」学習列車	19
III 三陸を元気にする文化芸術・スポーツ	
オールいわて・祭りイベント	20
さんりく文化芸術祭2019	21
さんりく音楽祭2019	22
さんりく絆スポーツフェスタ	24
IV 地域との連携による取組	
三陸応援団 元氣お届けキャラバン	26
ホタテモザイクアート「ありがとう貝画(かいが)」	28
三陸ステーションガーデンプロジェクト	28
LINK SANRIKU 情報ステーション	29



三陸防災復興プロジェクト 2019

オープニングセレモニー

実施日 2019年6月1日(土)
実施場所 釜石市民ホール TETTO ホールA(釜石市)
参加者数 700人

復興に力強く取り組んでいる三陸地域の今と、復興への支援に対する感謝の思いを発信しました。
 セレモニーでは、日本政府(復興庁)・米国大使館・国連防災機関から、復興や防災に関するスピーチを実施したほか、復興支援でつながりのある八神純子さんのライブを実施しました。
 また、開催日に合わせ、沿岸の事業者が中心となって三陸の食のブース出展が行われ、三陸の食の魅力も発信しました。

実施内容

- 開会宣言
- 東日本大震災津波犠牲者への黙とう
- 主催者代表挨拶 三陸防災復興プロジェクト2019実行委員会 会長(岩手県知事) 達増 拓也
- 来賓挨拶 内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官 安藤 裕 氏
 (代読 復興庁岩手復興局 局長 内田幸雄氏)
- 東日本大震災津波の被災状況等の報告.....岩手県政策地域部 部長 白水 伸英
- 海外からの復興支援..... 米国大使館 臨時代理大使 ジョセフ・M・ヤング 氏
- 東日本大震災津波が国際的な防災議論に与えた影響..... 国連防災機関(UNDRR)駐日事務所 代表 松岡 由季 氏
- 若者による復興の取組報告..... TOMODACHI イニシアチブ支援プログラム卒業生 吉浜 知輝 氏
- 八神純子さんによるトーク&ライブ



三陸防災復興プロジェクト2019実行委員会
会長 達増拓也(岩手県知事)



米国大使館臨時代理大使 ジョセフ・M・ヤング氏



国連防災機関(UNDRR)駐日事務所代表 松岡由季氏



復興の取組報告を行う吉浜知輝氏

若者のプロジェクトへの参画

- 若者による復興の取組報告：TOMODACHI イニシアチブの支援プログラム 卒業生 吉浜知輝氏
 運営支援：岩手わかすフェス実行委員会

次代を担う若者が参加している「いわてわかすフェス実行委員会」の大学生2名が運営に参加。また、岩手県立大槌高等学校、岩手県立釜石高等学校、岩手県立釜石商工高等学校の生徒、岩手県立大学の学生が観覧し、東日本大震災津波発災からこれまでの復興の経緯や教訓、また、プロジェクトへの趣旨等の理解を深めました。

企業・団体との協働連携による取組

- 食のイベント「さんりくろっ」の開催：
 さんりくろっ実行委員会(釜石市、気仙沼市、大船渡市、陸前高田市、南三陸町、住田町、大槌町の有志で構成)
 オープニングセレモニーに合わせ、「さんりくろっ実行委員会」が、会場前広場で「さんりくろっin釜石2019」を開催し、三陸の食の魅力を発信しました。

三陸防災復興シンポジウム2019

東日本大震災津波の記憶と教訓を伝えることにより、日本国内はもとより、世界の防災力向上へ貢献することを目指し、2015年に国連防災世界会議で策定された「仙台防災枠組2015-2030」に掲げる「災害への備えの向上とよりよい復興(Build Back Better)」につながるよう、4つのテーマで防災力強化や被災後の地域の再生を考えるためのシンポジウムを開催しました。



第1回【釜石市】の様子



第4回【宮古市】の様子

第1回【釜石市】 これからの防災

～東日本大震災と世界の自然災害の教訓から学ぶ新しい防災のカタチ～

- 実施日** 2019年6月1日(土)、分科会6月2日(日)
- 実施場所** 釜石市民ホールTETTOホールA(釜石市)
分科会「災害看護・災害時の公衆衛生」：釜石市民ホールTETTOホールB(釜石市)
分科会「いわての復興教育」：鶴住居公民館、いのちをつなぐ未来館(釜石市)
- 参加者数** 590人(分科会を含む)

第3回【大船渡市】 コミュニティを基盤とした防災力の向上

～つながりの力で災害から地域を守る～

- 実施日** 2019年7月19日(金)、
エクスカッション7月20日(土)
- 実施場所** 大船渡市民体育館(大船渡市)
エクスカッション：大船渡市防災観光交流センター、赤崎地区公民館(漁村センター)、キャッセン大船渡、陸前高田市内の震災遺構、新市街地など
- 参加者数** 250人

第2回【久慈市】 なりわいの再生と新たな三陸の創造

～三陸の豊かさを生かした持続可能な産業を考える～

- 実施日** 2019年6月28日(金)、
エクスカッション6月29日(土)
- 実施場所** 久慈市文化会館アンバーホール
小ホール(久慈市)
エクスカッション：久慈地下水族科学館もぐら
んぴあ、道の駅のだ、涼海の丘ワイナリー
- 参加者数** 250人

第4回【宮古市】 鉄道とフェリーがつなぐ幸福

～新たな三陸交通網を活用した地域間交流と地域活性化のヒント～

- 実施日** 2019年7月26日(金)、
エクスカッション7月27日(土)
- 実施場所** イーストピアみやこ多目的ホール(宮古市)
エクスカッション：田老の防潮堤、たろう観光ホテル、山王岩、道の駅たろう、三陸鉄道(田老駅、宮古駅)
- 参加者数** 150人

若者のプロジェクトへの参画(第4回)

- 郷土芸能(中野七頭舞)披露：岩手県立岩泉高等学校生徒
- 合唱発表：宮古市立河南中学校生徒

三陸防災復興展示会

自衛隊や海上保安庁などの防災関係者や、通信事業者等との協働・連携により、災害への備えや防災に関する知識を学ぶ体験型防災展示会を三陸防災復興シンポジウム会場で一体的に実施しました。

また、本プロジェクトの会期中、沿岸13市町村の公共施設等の情報発信拠点に東日本大震災津波の被害状況や復旧・復興の様子を伝えるパネルを展示しました。



三陸防災復興展示会 in 釜石
(釜石市民ホールTETTO)



三陸防災復興展示会 in 久慈
(久慈市文化会館アンバーホール)

三陸防災復興展示会 in 釜石

- 実施日** 2019年6月1日(土)、2日(日)
- 実施場所** 釜石市民ホールTETTO周辺および釜石港公共ふ頭
- 参加者数** 7,700人
- 実施内容** 釜石市民ホールTETTO周辺での屋外展示：防災そぼっち号(地震体験／岩手県立総合防災センター)、水難レスキュー車(岩手県警察本部)など
屋内での企業・団体のブース展示：防災気象情報の活用(盛岡地方気象台)、応急手当体験(釜石消防本部)、日本赤十字社災害展示(日本赤十字社岩手県支部)、釜石海上保安部展示(釜石海上保安部)など
釜石港：特務艇はしだて一般公開(海上自衛隊)など

三陸防災復興展示会 in 大船渡

- 実施日** 2019年7月19日(金)、20日(土)
- 実施場所** 大船渡市民体育館および大船渡港
- 参加者数** 1,150人
- 実施内容** 大船渡市民体育館での屋外展示内容：軽装甲機動車・高機動車・野外入浴セット(陸上自衛隊)、排水ポンプ車(岩手河川国道事務所)、水難レスキュー車(岩手県警察本部)、屈折はしご車(大船渡消防本部)など
屋内での企業・団体のブース展示：応急手当体験・煙体験(大船渡消防本部)、日本赤十字社災害展示(日本赤十字社岩手県支部)、災害時の口腔ケア(岩手県歯科医師会)など
大船渡港：巡視船きたかみ一般公開(釜石海上保安部)

三陸防災復興展示会 in 久慈

- 実施日** 2019年6月28日(金)、29日(土)
- 実施場所** 久慈市文化会館および久慈港
- 参加者数** 1,750人
- 実施内容** 久慈市文化会館での屋外展示内容：96式装輪装甲車・野外入浴セット(陸上自衛隊)、水難レスキュー車(岩手県警察本部)、拠点機能形成車両・普通ポンプ車・救急車・煙体験(久慈消防本部)など
屋内での企業・団体のブース展示：気象研修会・防災気象情報の活用(盛岡地方気象台)など
久慈港：巡視船まべち一般公開(八戸海上保安部))
同時開催：いわてICTフェアin三陸・久慈(いわてICTフェア実行委員会)

三陸防災復興展示会 in 宮古

- 実施日** 2019年7月26日(金)・27日(土)
- 実施場所** 宮古市市民交流センターおよびシートピアなあと
- 参加者数** 2,400人
- 実施内容** 宮古市市民交流センターでの屋外展示：防災そぼっち号(地震体験／岩手県立総合防災センター)など
屋内での企業・団体のブース展示：津軽石・高浜地区津波模型(岩手県立宮古工業高校)
シートピアなあとでの屋外展示：港湾業務艇こはく一般公開(釜石港湾事務所)、津波救命艇(東北運輸局、株式会社ティエーエフシー)など

若者のプロジェクトへの参画(宮古市)

- 津波模型の実演展示：岩手県立宮古工業高等学校生徒



若者のプロジェクトへの参画

- スピーチ「未来への希望」：岩手県立高田高等学校生徒、NPO法人SET 上田彩果さん、一般社団法人SAVE TAKATA 坪井奈穂美さん
岩手県立高田高等学校が平成29年度から、総合学習の一環で取り組む独自のキャリア教育「T×ACTION PROJECT」の紹介として、課題先進地域におけるビジネスモデルを高校生の視点で考案、発表する取り組みについて、NPO法人SET、一般社団法人SAVE TAKATA両法人の協力で制作したビジネスプランを展示しました。また、陸前高田市と米国カリフォルニア州クレセントシティ市を結びつけた、高田高校の実習船「かもめ」の大型パネルも展示しました。
- 追悼の合唱及びクロージングコンサート：岩手県立不来方高等学校音楽部
- 復興・地域づくり活動展示：陸前高田グローバルキャンパス(立教大学、岩手大学)

坂本龍一さんと東北ユースオーケストラによるピアノ五重奏コンサートの様子



スピーチ「未来への希望」を行う県立高田高等学校の生徒

三陸防災復興プロジェクト 2019

クロージングセレモニー

- 実施日 2019年8月7日(水)
- 実施場所 夢アリーナたかた(陸前高田市)
- 参加者数 1,300人

国内外からの復興支援に対する感謝とともに、復興を続ける三陸の“今”と、未来へ向け持続的な発展を目指す決意を発信しました。

また、閉幕を彩るコンサートとして、不来方高等学校音楽部の生徒の合唱のほか、復興支援でつながりのある坂本龍一さんと東北ユースオーケストラによるピアノ五重奏の演奏を行いました。

実施内容

- 追悼の合唱「群青」……………岩手県立不来方高等学校音楽部
- 東日本大震災津波犠牲者への黙祷
- 主催者代表挨拶……………三陸防災復興プロジェクト2019実行委員会 会長(岩手県知事) 達増 拓也
- プロジェクト開催報告……………ストーリーテラー 村上 弘明 氏
- スピーチ「未来への希望」……………NPO法人SET 上田 彩果 氏
(一社)SAVE TAKATA 坪井奈穂美 氏
岩手県立高田高等学校生徒
- クロージングコンサート……………岩手県立不来方高等学校音楽部による合唱
坂本龍一さんと東北ユースオーケストラによるピアノ五重奏コンサート



追悼の合唱「群青」及びクロージングコンサートの演奏を行った不来方高等学校音楽部

企業・団体との協働連携による取組

- 復興・地域づくり活動展示：一般社団法人SAVE TAKATA、NPO法人SET、NPO法人りくカフェ、NPO法人陸前たがだ八起プロジェクト、NPO法人高田松原を守る会、NPO法人まゐむたかた
陸前高田市で復興や地域づくりに取り組む団体等を紹介することにより、復興を続ける三陸の「今」と、新しい三陸を切り開いていくために多様な主体が連携・協働して未来の地域振興につなげる取り組みを拡大している姿を発信することを目的に、上記団体の出展ブースを設けました。

三陸ジオパーク ワクワクフェスタ

三陸ジオパークフォーラムのほか、三陸沿岸の各博物館施設等による、初の共同企画展「岩手の海とジオの魅力展」を実施しました。

また、国立科学博物館との連携協力による共同巡回展示や、釣り用品メーカーの協力による親子釣りイベントを実施しました。

三陸ジオパークフォーラム

- 実施日** 2019年6月7日(金)、8日(土)
- 実施場所** 岩泉町民会館、岩泉町周辺
- 参加者数** 394人(うちエクスカーションツアー：99人)
- 実施内容**

- ① **ジオパークフォーラム** 2019年6月8日(土)
 - オープニングアトラクション
中野七頭舞(中野七頭舞保存会)
 - 基調講演「日本のジオパーク」
講演者：京都造形芸術大学学長・前日本ジオパーク委員会委員長
尾池 和夫 氏
 - ミニ講演「ジオパークって何？」
講演者：三陸ジオパーク推進協議会 コーディネーター
杉本 伸一 氏



三陸ジオパークフォーラムの様子

- ② **エクスカーションツアー** 2019年6月7日(金)：3コース
2019年6月8日(土)：2コース

親子釣りフェスタ&ジオツアー

- 実施日** 2019年8月3日(土)、4日(日)
- 実施場所** 宮古市周辺
- 参加者数** 28名(親子7組14名×2日)
- 実施内容**
 - Aコース「岩手の海を学ぶ!夕釣りコース」
実施日：2019年8月3日(土)
行 程：1. 岩手県立水産科学館 見学
2. みやこ浄土ヶ浜遊覧船 乗船
3. 宮古港出崎ふ頭 縄文式釣り体験、講師によるレクチャー、海釣り等
 - Bコース「浜の歴史を紐解く!朝釣りコース」
実施日：2019年8月4日(日)
行 程：1. 宮古港出崎ふ頭 縄文式釣り体験、講師によるレクチャー、海釣り等
2. みやこ浄土ヶ浜遊覧船 乗船
3. 崎山貝塚縄文の森ミュージアム 見学



Daiwaフィッシングプロが釣りを楽しくサポート



宮古港出崎ふ頭で釣りを楽しむ参加者の様子

企業・団体との協働連携による取組

- グローブライド株式会社(フィッシングブランド「Daiwa」)
開催地や実施内容に関する助言のほか、当日の運営にも協力いただきました。

岩手の海とジオの魅力展

三陸ジオパークに点在する博物館施設等による共同展示

- ① **久慈地下水族科学館もぐらんどあ(久慈市)**
 - 実施名称** 「三陸の海はクラゲがいっぱい展」
 - 実施期間** 2019年6月25日(火)～8月31日(土)
 - 参加者数** 11,442人
- ② **岩手県立水産科学館(宮古市)**
 - 実施名称** 「第32回 磯の生物展」
 - 実施期間** 2019年7月12日(金)～8月18日(日)
 - 参加者数** 3,392人
- ③ **崎山貝塚縄文の森ミュージアム(宮古市)**
 - 実施名称** 「大地を掘ると、海の恵みがみえてくる」
 - 実施期間** 2019年7月13日(土)～9月29日(日)
 - 参加者数** 1,310人
- ④ **山田町立鯨と海の科学館(山田町)**
 - 実施名称** 「クジラのすみ海 一浅い海から深い海まで」
 - 実施期間** 2019年6月1日(土)～8月7日(水)
 - 参加者数** 3,365人
- ⑤ **釜石市郷土資料館(釜石市)**
 - 実施名称** 「おらほの語つこ聞いてください」
 - 実施期間** 2019年6月8日(土)、6月22日(土)、7月6日(土)、7月20日(土)、8月3日(土)
 - 参加者数** 1,144人
- ⑥ **大船渡市立博物館(大船渡市)**
 - 実施名称** 「気仙と津波 ～大船渡・陸前高田～」
 - 実施期間** 2019年6月15日(土)～8月18日(日)
 - 参加者数** 2,077人(コラボミュージアム参加者数含む)



各会場では共同展示の共通バナー等を設置



山田町立鯨と海の科学館の展示



子どもたちの絵が海の中で泳ぐ「デジタル水族館」

国立科学博物館と県立博物館のコラボミュージアム

「生命のれきしー君につながるものがたりー」

国立科学博物館と岩手県立博物館が連携し、地質・歴史・生物にまつわる資料を巡回展示しました。

岩泉町小本津波防災センター

- 実施日** 2019年6月2日(日)～6月16日(日)
- 参加者数** 792人

大船渡市立博物館

- 実施日** 2019年6月22日(土)～7月15日(月・祝)
- 参加者数** 1,176人

企業・団体との協働連携による取組

- 国立科学博物館
展示資料の貸し出しのほか、設営などにも協力いただきました。



共同巡回展示の様子



共同巡回展示の様子

三陸ジオパーク フォトロゲイニングフェスティバル

日本フォトロゲイニング協会に全面協力いただき、岩手沿岸地域初開催となる、フォトロゲイニング大会を開催しました。

地点の設定に当たっては、三陸沿岸の景勝地のみならず、みちのく潮風トレイルや震災遺構も組み合わせました。

若者のプロジェクトへの参画

- 運営支援：東北大学オリエンテーリング部
- 広報協力：宮城学院女子大学オリエンテーリング部



沿岸南部エリア大会 三陸ジオパーク フォトロゲイニングフェスティバル in 釜石市&大槌町

- 実施日** 2019年6月15日(土)
実施場所 釜石市民ホール TETTOを基点に、釜石市内、大槌町内で開催
参加者数 56組 156名



チェックポイントで写真を撮影

沿岸北部エリア大会 三陸ジオパーク フォトロゲイニングフェスティバル in 普代村&野田村

- 実施日** 2019年7月6日(土)
実施場所 普代村社会体育館を基点に、普代村内、野田村内で開催
参加者数 47組 130名



大会スタートの様子

いわて三陸ドライブツーリズム

- 実施期間** 2019年6月1日(土)～8月7日(水)
実施場所 三陸沿岸を中心に、県内全域
参加者数 17,120人
実施内容

- 「いわてわんこグルメdeまんぶくドライブパスポート」の販売
- デジタルスタンプラリーの実施
- ドライブモデルルートの構築
- ほか

■わんこグルメ(一例)



一関市の「フラワーフラッペ」



大槌町の「ひよこり揚げ」



釜石市の「柿酢サイダー」



大船渡市の「いかせんべいセット」

復興道路や復興支援道路などの整備の進捗による新たな交通ネットワークを実感できるよう、防災や三陸ジオパークなどのテーマ別に6つのモデルルートを構築して発信したほか、参加飲食店や道の駅の協力を得て、三陸ならではのご当地グルメが味わえるドライブ周遊企画「いわてわんこdeまんぶくドライブパスポート」を実施しました。

いわて三陸学びの旅

- 実施期間** 2019年1月～3月
 (旅行商品の販売、予約受付)
 2019年6月～8月
 (旅行エージェント招請)
実施場所 三陸沿岸13市町村
参加者数 6,331人

三陸DMOセンターが磨き上げた観光コンテンツを活かした旅行商品を造成し、復興の今や三陸の豊かな地域資源を学ぶ体験ツアーを実施しました。

また、旅行エージェントを招請し、地元の観光業者との懇談を行うなど、誘客の立場から見た商品の磨き上げに向けた意見交換を実施しました。



田野畑村サップ船アドベンチャーズ



大槌町防災ワークショップ

「美味(うんめ)えがすと三陸 ーGastronomy SANRIKUー構想」推進プロジェクト

国内外の著名なシェフ等が一堂に会する国際会議を開催し、ガストロノミー(美食術・食文化)の視点から、三陸の魅力を発信するとともに、三陸美食サロンでシェフが協働してフュージョンディナーを実施しました。

三陸国際ガストロノミー会議 2019

- 実施期間 6月10日(月)～6月11日(火)
- 実施場所 宮古市民文化会館(交流会：浄土ヶ浜パークホテル)
- 参加者数 1,600人
- 同時開催 いわて黄金食財見本市

国内外の著名なシェフや専門家等が一堂に会し、「三陸の食・海と環境」をテーマに、豊かな地域資源を発信する国際会議と、会議参加シェフ等との交流会を開催しました。



三陸国際ガストロノミー会議 2019の様子

三陸美食サロン

- 実施期間 6月1日(土)～8月7日(水)
- 実施場所 沿岸13市町村の協賛レストラン
- 来場者数 1,330人

著名なシェフと岩手のシェフとのコラボレーションにより、岩手の食材を使って創作した料理を岩手県沿岸部の13市町村のレストランで提供しました。



ホヤ キューリのソース雑穀



国内外の料理人と地元の料理人の
コラボレーション

- 実施店舗
- ◎グリーンヒルおおの(洋野町)
- ◎平庭山荘(久慈市)
- ◎Osteria Vai-getsu(おすてりあばいげつ・野田村)
- ◎国民宿舎くろさき荘(普代村)
- ◎ロレオール田野畑(田野畑村)
- ◎道の駅いわいづみレストラン岩泉(岩泉町)
- ◎浄土ヶ浜パークホテル(宮古市)
- ◎和海味処いづぶく(山田町)
- ◎割烹岩戸(大槌町)
- ◎和の膳みや川(釜石市)
- ◎すみたのだいどころKerasse(ケラッセ・住田町)
- ◎トラットリア ボルコ・ロッソ(大船渡市)
- ◎和食味彩(陸前高田市)

三陸と世界をつなぐ「食」のキャラバン

- 実施期間 6月5日(水)～6月8日(土)
- 実施場所 沿岸13市町村
- 参加者数 700人

三陸の「食」の豊かさを再発見するため、沿岸各地において、国内外の著名なシェフによる産地視察を行い、生産者等との交流を実施しました。



「食」のキャラバン 著名なシェフによる産地視察



いわてHAMA-MESHIプロジェクト

スタンプラリーによる周遊企画

実施期間 2019年6月1日(土)～8月7日(水)
実施場所 沿岸13市町村
参加者数 35,600人

沿岸13市町村の飲食店、宿泊施設等の参加により、三陸ならではの食を提供しました。また、参加店を巡るスタンプラリーも実施し、周遊促進を図りました。



おふるまい企画

漁協女性部との連携により、三陸地域の食材や昔から地域に伝わる調理法で家庭料理を提供しました。

「ホタテの汁物」：2019年6月29日(土)、久慈市文化会館(三陸防災復興展示会 in 久慈)
 「さんまのすり身汁」：2019年7月20日(土)、大船渡市民体育館(三陸防災復興展示会 in 大船渡)



「さんまのすり身汁」のおふるまい



大船渡市での「さんまのすり身汁」の様子



久慈市での「さんまのすり身汁」の様子

さんまのすり身汁



ホタテの汁物

企業・団体との協働連携による取組

- 三陸地域の家庭料理の提供：岩手県信用漁業協同組合連合会、九戸地区漁協女性部連絡協議会、気仙地区漁協女性部協議会

三陸お土産品プロモーション大作戦

実施日 2019年5月～8月
参加者数 3,689人

三陸の豊かな地域資源を活かした地場産品をプロジェクト推奨お土産品として物産展等でPRしました。

また、プロジェクトの会期中は、岩手県産(株)の協力を得て、首都圏等で開催された物産展に販売コーナーを設置したほか、日本郵便の支援により首都圏・仙台市の郵便局物産展にも出展しました。

さらに、イオングループ、イトーヨーカドー、空港ターミナルビル、道の駅、川徳等の協力による販売コーナーも設置しました。

■推奨お土産品(一例)



北限のゆずともろみのドレッシング



マリンローズオープナー



BAKED岩泉ヨーグルトタルト



推奨お土産品のロゴステッカー

物産展等への出展

- JR大宮駅「いわて産直市」
2019年5月26日(日)～5月30日(木)
- 仙台中央郵便局での物産展
2019年5月30日(木)
- 丸広百貨店川越店「岩手物産展」
2019年6月19日(水)～6月24日(月)
- 博多阪急「グルメ博2019」
2019年6月19日(水)～6月25日(火)
- めんこいまつりin大船渡
2019年6月22日(土)
- 三陸防災復興展示会 in 久慈
2019年6月29日(土)
- 立川郵便局での物産展
2019年7月1日(月)
- 仙台 藤崎百貨店「大岩手展2019」
2019年7月4日(木)～7月9日(火)
- いわて絆まつりin宮古2019(三陸グルメまつり)
2019年7月13日(土)～7月14日(日)
- 新宿郵便局での物産展
2019年7月19日(金)
- 三陸防災復興展示会 in 大船渡
2019年7月20日(土)
- 岩手県産株式会社によるインターネットでの販売
2019年6月1日(土)～8月7日(水)
- いわて銀河プラザでの特設コーナー店頭展開
2019年6月1日(土)～8月7日(水)
- らら・いわてでの特設コーナー店頭展開
2019年6月1日(土)～8月7日(水)

企業・団体との協働連携による取組

- 販売コーナーの設置等：日本郵便(株)東北支社、イオンスーパーセンター(株)、イオンリテール(株)、(株)イトーヨーカ堂、岩手県空港ターミナルビルテナント会、岩手県「道の駅」連絡会、(株)川徳、(株)かわとく壺番館

若者のプロジェクトへの参画

- 新商品の開発・販売開拓支援：岩手県立大学学生有志「復興girls&boys*」
岩手県立宮古水産高等学校との共同により「サバ椎茸味付缶詰」を開発し、販路開拓支援などを行っていただきました。



「いわて産直市」の様子(JR大宮駅)

三陸プレミアムランチ列車

三陸鉄道と連携し、「日本料理・賛否両論」の笠原将弘シェフ監修による「三陸プレミアムランチ列車」及びうに・ほや・ほたてを使用した地元料理を提供する「三陸うほほ列車」を運行しました。

実施日 南三陸コース：2019年6月15日(土)

北三陸コース：2019年7月14日(土)

実施場所 南三陸コース：三陸鉄道リアス線「盛～宮古間」

北三陸コース：三陸鉄道リアス線「久慈～宮古間」

参加者数 93人

実施内容

● 賛否両論・笠原将弘シェフ料理監修いわて三陸プレミアムランチ列車～笠原シェフと行く、旬の食材を味わうリアス海岸の旅～

① 南三陸コース ～南三陸の旬に舌つづみ～

② 北三陸コース ～夏の北三陸を味わいつくす～



三陸の食の魅力を発信



笠原将弘シェフからお客へ料理をサーブ



笠原将弘シェフ

三陸うほほ列車

実施日 2019年6月30日(日)

実施場所 三陸鉄道リアス線「久慈～宮古間」

参加者数 41人



荒海ほたて焼き



「三陸うほほ列車」運行の様子

三陸鉄道一貫運行記念「三陸縦断夜行列車」

実施日 2019年7月20日(土)～21日(日)、
7月27日(土)～28日(日)

実施場所 三陸鉄道リアス線「盛～久慈間」

参加者数 109人

日本一長い第三セクター鉄道となった、三陸鉄道リアス線163kmを夜通し走る三陸縦断夜行列車「さんりくあさかぜ号」を運行しました。

企業・団体との協働連携による取組

● おもてなし企画の協力団体：ほたてデッキ、久慈広域観光協議会、北リアスの会
ほたて焼きの提供や大漁旗によるお出迎えなどを行っていただきました。



三陸縦断夜行列車内の様子

"復興の今" 学習列車

実施日 新区間の震災学習列車
既存の震災学習列車の拡充

2019年6月8日(土)、7月6日(土)

南三陸コース：2019年6月1日(土)

北三陸コース：2019年7月25日(木)

実施場所 新区間の震災学習列車
既存の震災学習列車の拡充

三陸鉄道リアス線「宮古～鶴住居間」

南三陸コース：三陸鉄道リアス線「釜石～盛間」

北三陸コース：三陸鉄道リアス線「田野畑～久慈間」

参加者数 138人



復興インフラの様子を見学



列車内での震災学習

オールいわて・祭りイベント



「いわて絆まつり in 宮古 2019」パレードの様子

いわて絆まつり in 宮古 2019

実施期間 2019年7月13日(土)～7月14日(日)
実施場所 宮古市
参加者数 33,000人

岩手県内全33市町村の参加により、各郷土芸能団体が一堂に会し、演舞を披露しました。特別出演として仙台すずめ踊りも参加しました。また、三陸地域の食のPRのため、三陸グルメまつりを併催しました。



黒森神楽



特別出演 仙台すずめ踊り

さんりく文化芸術祭 2019

宮城県石巻市で復興支援活動を行っている芸術団体(代表：小林武史さん)が中心となって運営している Reborn-Art Festivalとの協働連携によりオペラ「四次元の賢治-完結編-」(脚本：中沢新一さん、音楽：小林武史さん、出演：満島真之介さん他)を開催したほか、沿岸各市町村に設置したLINK SANRIKU 情報ステーションで、地域の創作アート の展示を実施しました。

四次元の賢治 ー完結編ー

実施日 2019年7月13日(土)
実施場所 釜石市民ホール TETTO (釜石市)
参加者数 800人



photo by Saki Yagi



photo by Saki Yagi

地域の創作活動団体等による作品展示

実施期間 2019年6月1日(土)～8月7日(水)
実施場所 沿岸13市町村



普代村観光センター(三陸鉄道普代駅)での作品展示



大槌文化交流センターおしゃっちでの作品展示

創作アート展示団体

●洋野町／ひろの ●久慈市／浜の母ちゃんサークル ●野田村／さをりひろば野田、羽希羽季クラブ ●普代村／和紙ちぎり絵教室、普代参拾伍番館、おりがみサークルしおかぜの会 ●田野畑村／ NPO 法人ハックの家 ●岩泉町／小本いきがいくらぶ ●宮古市／宮古美術協会、みやこフォトクラブ、宮古書道協会、NPO 法人津波太郎 ●山田町／夢花クラブ・山田、長岡弘次 ●大槌町／大槌クラフトバンドを楽しむ会「ほほえみ」、おおちゃん手編みサークル、ままりば、大槌復興刺し子プロジェクト、大槌ちぎり絵教室 ●釜石市／絵画クラブ彩美会、釜石市民絵画教室、切り絵サークル「はまゆり」 ●住田町／なつかしい未来創造株式会社「陸前高田アーティスト・イン・レジデンス」、Home of Wisdom ●大船渡市／大船渡写真クラブ、七虹会と三洋会、静月書院 ●陸前高田市／陸前高田商工会女性部、中田団地ゆりの会、なつかしい未来創造株式会社「陸前高田アーティスト・イン・レジデンス」、サロルンカムイプロジェクト、Home of Wisdom

さんりく音楽祭 2019

サントリーホールディングス(株)及び兵庫県との復興支援のつながりを生かし、世界的音楽家の佐渡裕さんとスーパーキッズオーケストラによる沿岸縦断コンサートや、東京都交響楽団による演奏会の開催のほか、メディアと連携した音楽イベントを開催しました。

佐渡裕さんとスーパーキッズ・オーケストラによるコンサート

実施日 実施場所	7月31日(水) 大船渡市(大船渡市民会館)
	8月1日(木) 山田町(中央公民館) 大槌町(おしゃっち) 釜石市(釜石市民ホール ホールA)
	8月2日(金) 田野畑村(アズビィホール) 宮古市(宮古市民文化会館 大ホール)
	8月3日(土) 久慈市(久慈市文化会館)
	8月4日(日) 洋野町(種市駅前広場)
参加者数	4,300人

東日本大震災津波発生後、継続して沿岸部において復興支援に取り組んでいただいている世界的な音楽家の佐渡裕さんとスーパーキッズ・オーケストラによるコンサートや音楽クリニックを実施しました。

久慈市でのコンサートでは、震災発生以降、復旧・復興活動の最前線で活躍した警察、自衛隊、消防の音楽隊等と共演しました。

若者のプロジェクトへの参画

●山田公演：山田町立山田中学校吹奏楽部、岩手県立山田高等学校吹奏楽部 ●大槌公演：大槌町内児童有志 ●釜石公演：花巻金星少年少女オーケストラ ●田野畑公演：田野畑村立田野畑小学校スクールバンド ●宮古公演：宮古市立第二中学校吹奏楽部、宮古市立河南中学校吹奏楽部・合唱部、岩手県立宮古高等学校吹奏楽部 ●久慈公演：久慈市児童合唱団

企業・団体との協働連携による取組

●大船渡公演：大船渡さんご合唱団、ぶなと合唱団、ゆうゆうBAND ●山田公演：コーラス泉の会、町民合唱団 ●釜石公演：釜石吹奏楽団、くらぶ海音 ●久慈公演：北いわて合唱団

復旧・復興支援機関との連携

●久慈市消防団ラッパ隊、岩手県警音楽隊、熊本県警音楽隊、警視庁音楽隊、陸上自衛隊第9音楽隊



大船渡市民文化会館(リアスホール)での合同演奏の様子

三陸防災復興プロジェクト2019×東京都交響楽団 弦楽四重奏コンサート in 野田村

実施日 実施場所	6月26日(水) 野田村立野田小学校(野田村)
	6月27日(木) 野田村生涯学習センター(野田村) 野田村保育所(野田村)
	6月28日(金) いなり保育園(久慈市)
参加者数	105人



東京都交響楽団の弦楽四重奏

めざましライブ～日本お元気キャラバン in 大船渡

実施日	2019年6月22日(土)
実施場所	大船渡市民文化会館 リアスホール(大船渡市)
参加者数	1,000人

若者のプロジェクトへの参画

●大船渡市立赤崎中学校生徒
ライブに先立ち、「赤中ソーラン」を披露していただきました。



きゃりーぱみゅぱみゅさん



大船渡市立赤崎中学校生徒による「赤中ソーラン」演舞

さんりく絆スポーツフェスタ

「スポーツの力による復興」パネル展示in 釜石鵜住居復興スタジアム

実施日 2019年7月27日(土)
実施場所 釜石鵜住居復興スタジアム(釜石市)
参加者数 13,135人

パシフィックネーションズカップ「ラグビー日本代表対フィジー代表」の開催に合わせ、「スポーツの力による復興」をテーマにパネル展示を行いました。



PNCに向けメッセージを寄せたサンドウィッチマン



釜石鵜住居復興スタジアムの展示ブース



パネル展示



寄せ書きタペストリー

オリンピックデー・フェスタ

実施日 6月15日(土) 山田町
実施場所 6月29日(土) 大槌町
 7月6日(土) 洋野町
 7月13日(土) 岩泉町
 8月4日(日) 住田町
参加者数 590人

東日本大震災津波発災後から復興支援を目的に開催されている「オリンピックデー・フェスタ」(被災地の方々とオリンピック、アスリートがスポーツプログラムを通じてふれあう交流イベント)の主催者である、公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)と連携して実施しました。



オリンピックデー・フェスタ

企業・団体との協働連携による取組

- 公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)

さんりく絆スポーツフェスタ in 陸前高田

実施日 2019年7月28日(日)
実施場所 夢アリーナたかた、陸前高田市立第一中学校グラウンド(陸前高田市)
参加者数 1,050人

実施内容
 ●高橋尚子ランニングクリニック
 ●福田正博サッカークリニック
 ●パラスポーツ運動会
 ●ゲストアスリート トークショー
 ●卓球バレー交流会
 ほか

三陸地域の住民と有名スポーツ選手等が交流を図り、「夢・希望・憧れ」の醸成や、スポーツを通じた復興支援により生まれたつながりのさらなる強化を目的に実施しました。



高橋尚子ランニングクリニック



パラスポーツ運動会

SoftBank 東北絆CUP 2019

実施日 2019年7月14日(日)
実施場所 夢アリーナ高田(陸前高田市)
参加者数 250人

ソフトバンク(株)が復興支援の一環として取り組んでいる「東北絆CUP2019」を協働連携により実施しました。(競技：バスケットボール)



東北絆CUP2019

企業・団体との協働連携による取組

- ソフトバンク(株)

三陸応援団 元気お届けキャラバン



交流会での大道芸パフォーマンス(宮古市)



若者も運営に参画した夏祭り2019(野田村)

実施期間 2019年6月8日(土)～7月19日(金)
実施場所 三陸沿岸全域
参加者数 1,039人

社会福祉協議会や災害公営住宅自治会等と連携し、災害公営住宅等で地域のニーズに沿って交流事業を行い、住民の方々に元気や笑顔を届けるとともに、コミュニティ形成に資する活動を実施しました。

実施内容

- 市営近内住宅 カラオケ・ビンゴ大会(宮古市)
- 住民交流会 in 桝ヶ沢アパート ふるさと民謡まつり(陸前高田市)
- みんなあつまれ 陸前高田市中田団地 緑日横丁(陸前高田市)
- 住民で津軽石を明るくしよう!花壇の整備(宮古市)
- 三陸鉄道で旅をしよう!釜石～岩泉(釜石市)
- 住民交流会 in 山田中央団地 ふるさと民謡まつり(山田町)
- レギュラーがやってくる!よしもとお笑いステージ in 下館下(大船渡市)
- 住民交流会 in 北浜アパート ふるさと民謡まつり(山田町)
- 住民交流会 in 県営屋敷前アパート ふるさと民謡まつり(大槌町)
- みんなあつまれ 大ヶロ一丁目町営住宅 大交流会(大槌町)
- 市営住宅今泉団地落語交流会 桂枝太郎 独演会(陸前高田市)
- 市営本町住宅落語交流会 桂枝太郎 独演会(宮古市)
- 住民交流会 in 県営織笠アパート ふるさと民謡まつり(山田町)
- 住民交流会 in 公営住宅小本団地 ふるさと民謡まつり(岩泉町)
- みんなあつまれ 野田村新町地区 夏祭り2019(野田村)
- みんなあつまれ 上中島公営住宅I期II期合同 夏祭り(釜石市)
- 仮設の歌姫 復興の歌姫 元気配達人 奥野ひかるコンサート(陸前高田市)



若者のプロジェクトへの参画

- 運営補助スタッフ：岩手大学 学生有志
「復興girls&boys*」
弘前大学 学生有志



ふるさと民謡まつり(大槌町)



奥野ひかるさんコンサート
(陸前高田市)



ふるさと民謡まつり(山田町)



緑日横丁(陸前高田市)



夏祭り2019(野田村)



カラオケ・ビンゴ大会(宮古市)

卓球バレー交流会

実施期間 2019年6月8日(土)～6月27日(木)
実施場所 陸前高田市、釜石市、宮古市

- 陸前高田市市営住宅脇の沢団地 集会所
- 釜石市県営嬉石第1アパート 集会所
- 釜石市只越1号棟 集会所
- 宮古市田老三王地区自治会研修センター
- 釜石市天神町復興住宅 集会所
- 宮古市鎌ヶ崎公民館

参加者数 89人



卓球バレー交流会(釜石市)



卓球バレー交流会(陸前高田市)

ホタテモザイクアート「ありがとう貝画(かいが)」

実施期間 2018年8月～2019年3月(制作イベント)、2019年6月9日(除幕式)

実施場所 除幕式・釜石鵜住居復興スタジアム(釜石市)

参加者数 3,420人

釜石市内の小中学生で構成する「かまいし絆会議」の子供達がデザインし、制作した三陸産ホタテの貝殻モザイクアートを、釜石鵜住居復興スタジアムに設置し、国内外からの復興支援に対する感謝のメッセージを発信しました。

なお、モザイクアートに使用したホタテの貝殻は、県内外で貝殻着色イベントを開催し、多くの方に御参加いただきました。

実施内容

■デザイン検討、制作

- 第1回かまいし絆会議(釜石市立釜石小学校)
- 第2回かまいし絆会議(釜石市立釜石小学校)
- 「ありがとう貝画」制作イベント実施(釜石市民ホール TETTO)

■貝殻着色イベント

- IBCまつり(岩手産業文化センター)
- ツーリズムEXPOジャパン2018(東京ビッグサイト)
- ラグビーワールドカップ2019™日本大会 開幕1年前イベント(釜石市民ホール TETTO)
- 岩手わかすフェス2019(3×3 Lab future)
- 第4回いいね!地方の暮らしフェア(池袋サンシャインシティ文化会館)



ありがとう貝画



除幕式の様子

若者のプロジェクトへの参画

- 「かまいし絆会議」(釜石市内の小中学生で構成)の児童・生徒
- 「岩手わかすフェス実行委員会」(東京から岩手を盛り上げたい若者等が集う委員会)に参画する若者

三陸ステーションガーデンプロジェクト

実施期間 2019年2月～5月(ワークショップ)

実施場所 宮古市、久慈市

参加者数 450人

沿岸地域の団体・若者等の参加・協働により、三陸鉄道宮古駅及び久慈駅をガーデニングで装飾し、花と緑にあふれるステーションガーデンを創作したほか、野田村内の三陸鉄道沿線に花畑による新たな車窓風景モデルの創作に取り組みしました。



宮古駅のステーションガーデン化



久慈駅のステーションガーデン



植栽したシバザクラ(野田村十府ヶ浦公園)

若者のプロジェクトへの参画

- 三陸鉄道宮古駅のステーションガーデン化：宮古市立宮古小学校3年生の児童
- 三陸鉄道久慈駅のステーションガーデン化：岩手県立久慈東高等学校環境緑化系列コース2年生及び3年生の生徒

LINK SANRIKU 情報ステーション

実施期間 2019年6月1日(土)～8月7日(水)

実施場所 沿岸13市町村

- 洋野町／ひろの水産会館ウニーク
- 久慈市／やませ土風館、久慈地下水族科学館もぐらんぴあ
- 野田村／三陸鉄道 陸中野田駅
- 普代村／普代村観光センター(三陸鉄道 普代駅)
- 田野畑村／三陸鉄道 カルボナード島越駅
- 岩泉町／岩泉町小本津波防災センター(三陸鉄道 岩泉小本駅)
- 宮古市／宮古市市民交流センター イーストピアみやこ
- 山田町／三陸鉄道 陸中山田駅、やまだ観光物産館とっと
- 大槌町／大槌文化交流センター おしゃっち
- 釜石市／いのちをつなぐ未来館、釜石市民ホール TETTO、シープラザ釜石
- 住田町／住田町役場 交流プラザ
- 大船渡市／大船渡市防災観光交流センター おおふなぼーと
- 陸前高田市／陸前高田市コミュニティホール、アパッセたかた



大槌文化交流センター おしゃっち



イーストピアみやこ

沿岸13市町村の協力により、三陸鉄道駅舎、道の駅、観光防災関係施設等に情報発信拠点を設置(合計18か所)するとともに、株式会社ポケモン及び株式会社ナイドアンティックと連携した周遊企画を実施しました。

参加者数 19,025人



久慈駅前のポケモン顔出しパネル



ひろの水産会館ウニーク

協働連携事業

●株式会社ポケモン

いわて応援ポケモンに就任した「イシツブテ」などのキャラクターを活用し、情報ステーションをめぐるスタンプラリーや、同社と連携した三陸鉄道によるフリー切符の販売など、プロジェクト期間中に沿岸各地の周遊を促す事業を共同で実施しました。



企業・団体との協働連携による取組

●日本郵便株式会社

岩手県内300か所の郵便局が本プロジェクトの情報発信拠点として、ポスターやのぼりの掲出、ガイドブック・チラシ等の配架等により、事業情報、地域・観光情報の発信を行っていただきました。

広報【主な制作物】



第一弾 ポスター



岩手県の観光キャンペーンと連携した
プロジェクトガイドブック



公式ガイドブック



首都圏に向けた、交通広告ポスター



地域住民の声を紹介した、新聞広告

協賛企業一覧

プロジェクトパートナー

一般社団法人岩手県建設業協会
サントリーホールディングス株式会社
ソフトバンク株式会社
株式会社ナイアンティック
日本郵便株式会社東北支社
東日本旅客鉄道株式会社 盛岡支社
株式会社ポケモン
みちのくコカコーラボトリング株式会社

オフィシャルスポンサー

株式会社アイシーエス
岩手県土地改良事業団体連合会
三陸土建株式会社

プロジェクト支援企業

岩手県信用保証協会
株式会社クロスランゲージ

寄付金支援企業

みちのくコカコーラボトリング株式会社
株式会社マイヤ
岩手県商工会連合会

参加者数／のべ 185,474人 (人)

No.	事業名	集客目標	集客実績
1	オープニングセレモニー	600	700
2	三陸防災復興シンポジウム2019	1,100	1,240
3	オールいわて・祭りイベント	15,000	33,000
4	さんりく音楽祭2019	3,000	5,405
5	クロージングセレモニー	1,000	1,300
6	LINKSANRIKU情報ステーション	10,000	19,025
7	いわてHAMA-MESHIプロジェクト	30,000	35,600
8	三陸ステーションガーデンプロジェクト	—	450
9	美味えがすと三陸「GastronomySANRIKU構想」推進プロジェクト	2,700	3,630
10	ホタテモザイクアート「ありがとう貝画」	1,500	3,420
11	三陸ジオパーク ワクワクフェスタ	36,000	23,944
12	三陸ジオパーク フォトリゲイニングフェスティバル	400	286

No.	事業名	集客目標	集客実績
13	三陸防災復興展示会	12,500	13,000
14	さんりく文化芸術祭2019	1,000	800
15	三陸プレミアムランチ列車	100	134
16	三陸鉄道一貫経営記念「三陸縦断夜行列車」	100	109
17	さんりく絆スポーツフェスタ	17,000	15,114
18	三陸応援団 元氣お届けキャラバン	600	1,039
19	“復興の今”学習列車	120	138
20	三陸お土産品プロモーション大作戦	—	3,689
21	いわて三陸学びの旅	1,000	6,331
22	いわて三陸ドライブツーリズム	16,000	17,120
合計		149,720	185,474

会場の様子



「ありがとう貝画」かまいし絆会議代表の学生



ステーションガーデンプロジェクト参加児童



三陸応援団 元気お届け
キャラバン(金石市)



三陸防災復興展示会 in 金石



親子釣りフェスタ&ジオツアー



三陸ジオパーク
フォトロゲイニングフェスティバル



三陸プレミアムランチ列車



三陸防災復興プロジェクト2019
オープニングセレモニー



三陸防災復興プロジェクト2019
クロージングセレモニー



三陸防災復興プロジェクト2019
クロージングセレモニー

参加者の感想

「普段から人と人とのつながりが災害時の対応に役立つことと実感した。看護や医療、福祉などの関係者が集う会議を開き、役割分担をしておく必要があると思う」
(シンポジウムに参加した元保健師)

「笑顔を届け、気持ちを分かち合いたい」
(クロージングセレモニーに参加した大槌町出身の不来方高校生徒)

「こういうイベントが開かれるのは嬉しいです。これからも被災地に足を運んでもらって、復興の姿を知ってもらいたい」
(クロージングセレモニーに参加した地元の男性)

「7月1日から岩手県で『ポケモンGO』を使用したイベント!県をあげてのイベントは本当に素晴らしい!!岩手県の美味しいものや素晴らしい風景を感じて頂きたいです」
(SNS上、県民より)

「多くの人に『被災地の今』を知ってもらうきっかけになれば」
(オープニングセレモニーおよびシンポジウムに参加した地元中学生)

「災害対策のためにはコミュニティや事前の備えが大切と改めて分かった。大学ではまちづくりについて学びたいと考えており、ここで学んだことも生かして進路を決めたい」
(シンポジウムに参加した釜石高校の生徒)

「陸前高田の中高生の思いをかたちにできるように取り組みたい」
(クロージングセレモニーに参加した陸前高田市内NPO法人の方)

「みんなで協力して一つのものを作り上げられて良かった。スタジアムの目立つところにあってうれしい。釜石は壊滅的な被害を受けたけれど、たくさんの支援に助けられた。これから感謝の気持ちを持って世界中の人を出迎えたい」
(モザイクアート除幕式に参加した生徒)

「恐竜が好きでジオパークにも興味がある。化石レプリカは部屋に飾りたい」
(ジオフォーラム会場を訪れた小学生)

「震災のことを子どもと歩いて考え感じることもできて良かった」
(フォトロゲイニング参加者)

「地域、学校、家庭のつながりが重要だと再認識した。震災を知らない世代にどう事実を伝えていくか。しっかり学んで将来に生かしたい。」
(シンポジウムに参加した大学生)

「実際に被災地を訪れて、ガイドの話や津波被害の大きさや避難の大切さを改めて感じた」
(シンポジウムおよびエクスカーションに参加した方)

「ガイドブック片手に各市町村の美味しい物をたくさん食べました!!楽しかったです」
(HAMA-MESHIスタンプラリー参加者)

「がれきだらけだった街がきれいになり、復興が進んでいることを実感した」
(フォトロゲイニング参加者)

「とても面白い。誰でもできるのがいい。一度やると夢中になってみんな笑顔になる。」
(卓球バレー参加者)



三陸防災復興プロジェクト
2019

編集・発行



三陸防災復興プロジェクト2019実行委員会
(事務局：岩手県政策地域部 三陸防災復興プロジェクト2019推進室)